

## 臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律（平成 21 年法律第 83 号）の概要

### 1 臓器摘出の要件の改正

移植術に使用するために臓器を摘出することができる場合を次の①又は②のいずれかの場合とする。

- ① 本人の書面による臓器提供の意思表示があった場合であって、遺族がこれを拒まないとき又は遺族がないとき（現行法での要件）。
- ② 本人の臓器提供の意思が不明の場合であって、遺族がこれを書面により承諾するとき。

### 2 臓器摘出に係る脳死判定の要件の改正

移植に係る脳死判定を行うことができる場合を次の①又は②のいずれかの場合とする。

- ① 本人が
  - A 書面により臓器提供の意思表示をし、かつ、
  - B 脳死判定の拒否の意思表示をしている場合以外の場合であって、家族が脳死判定を拒まないとき又は家族がないとき。
- ② 本人について
  - A 臓器提供の意思が不明であり、かつ、
  - B 脳死判定の拒否の意思表示をしている場合以外の場合であって、家族が脳死判定を行うことを書面により承諾するとき。

### 3 親族への優先提供

臓器提供の意思表示に併せて、書面により親族への臓器の優先提供の意思を表示することができることとする。

### 4 普及・啓発

国及び地方公共団体は、移植術に使用されるための臓器を死亡した後に提供する意思の有無を運転免許証及び医療保険の被保険者証等に記載することができることとする等、移植医療に関する啓発及び知識の普及に必要な施策を講ずるものとする。

### 5 検討

政府は、虐待を受けた児童が死亡した場合に当該児童から臓器が提供されることのないよう、移植医療に従事する者が児童に対し虐待が行われた疑いがあるかどうかを確認し、及びその疑いがある場合に適切に対応するための方策に関し検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

## 臓器の移植に関する法律（現行法）と改正法 比較表

現行法	改正法	施行日
親族に対する優先提供	○臓器の優先提供を認める	平成 22 年 1 月 17 日
脳死判定・臓器摘出の要件	○本人の生前の書面による意思表示があり、家族が拒否しない又は家族がいないこと (現行法と同じ) 又は ○本人の意思が不明(拒否の意思表示をしていない場合)であり、家族の書面による承諾があること	平成 22 年 7 月 17 日
小児の取扱い	○年齢に関わりなし	
被虐待児への対応	(規定なし) ○虐待を受けて死亡した児童から臓器が提供されることのないよう適切に対応	
普及・啓発活動等	(規定なし) ○運転免許証等への意思表示の記載を可能にする等の施策	

## 臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律(平成21法律第83号)(抄)

附則

(検討)

- 5 政府は、虐待を受けた児童が死亡した場合に当該児童から臓器（臓器の移植に関する法律第五条に規定する臓器をいう。）が提供されることのないよう、移植医療に係る業務に従事する者がその業務に係る児童について虐待が行われた疑いがあるかどうかを確認し、及びその疑いがある場合に適切に対応するための方策に関し検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

## 外国語による児童相談所の業務案内の作成について

○ 近年、各地の児童相談所において外国人からの相談を受けることがあり、外国語による児童相談所の業務案内が必要であるとの要望を受けていたところである。

○ このことから、

- ① 英語
- ② 中国語（繁体字及び簡体字）
- ③ ハンゲル
- ④ タカログ
- ⑤ スペイン語
- ⑥ ポルトガル語
- ⑦ タイ語

により翻訳した業務案内のひな形を作成したものである。

## 児童相談所とは.....

児童相談所は、児童福祉法にもとづいて設置され、18歳未満の子どもに関する相談であれば、本人・家族・学校の先生・地域の方々など、どなたからでもお受けします。

児童相談所は、子どもの健やかな成長を願って、ともに考え、問題を解決していく専門の相談機関です。

## 専門のスタッフがいます

### ○児童福祉司（ソーシャルワーカー）

面接や家庭訪問などにより、子どもや家庭の状況を調査し、助言や援助を行います。

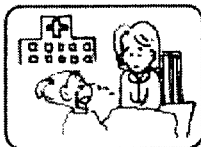
### ○児童心理司

子どもの発達や性格、適性などについて心理的な検査、心理療法、カウンセリングなどを行います。

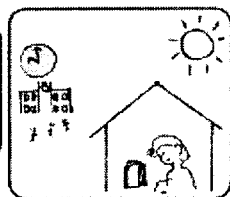
などの専門スタッフが中心となって相談・サービスにあたります。

## このような相談に応じています

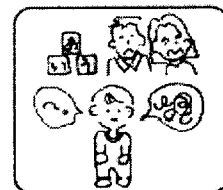
保護者の病気、死亡、家出、離婚などの事情で子どもが家庭で生活できなくなったとき。虐待など、子どもの人権にかかわる問題があるとき。



わがまま、落ち着きがない、友達ができない、いじめられる、学校に行きたがらない、チック等の習癖、夜尿などで心配なとき。



知的発達の遅れ、肢体不自由、ことばの遅れ、虚弱、自閉傾向などがあるとき。



家出、盗み、乱暴、性的いたずら、薬物の習慣などがあるとき。



孤親として家庭で子どもを育てたいとき。



○住所地を担当する児童相談所で相談をお受けしています。

### ○相談時間

月曜日～金曜日 午前 :00～午後 :00

なお、来所される場合は、あらかじめ予約していただくとお待たせすることなく相談できます。

○虐待等、緊急性のある相談には、夜間、土・日曜日、祝日（年末年始を含む）も対応しています。

○相談内容は、すべて秘密を守ります。

○相談は無料です。

## About the Child Guidance Office

Founded on the basis of the Child Welfare Law, a child guidance office accepts any type of consultation relevant to a child aged under 18, from anyone including the child, family, school teachers and local residents.

A child guidance office is a specialized counseling institution designed to search for solutions and solve problems with the hope of supporting the healthy growth of all children.

## Specialist Center Staff

- Child Welfare Officer

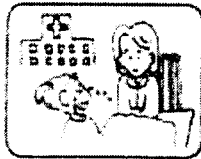
Performs interviews, in-home evaluations, and provides advice and guidance

- Child psychologist

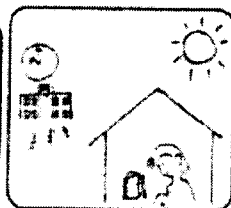
Performs psychological tests on child development, personality and aptitude, psychotherapy, and counseling.

## We handle the following types of consultation cases.

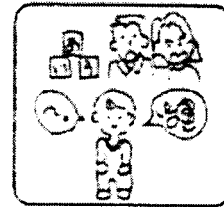
Situations in which a child cannot lead a normal life at home due to sickness, death, disappearance or divorce of a parent or guardian.  
Situations in which the child's human rights are at stake due to child abuse or other reasons.



Behavioral concerns such as selfishness, restlessness, difficulty in making friends, bullying, refusal to go to school, and nervous habits including tics and bedwetting.



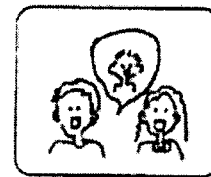
Situations in which a child experiences delayed intellectual development, emotional disability, delayed language development, frail health or exhibits signs of autism.



Situations in which a child is involved in antisocial conduct, such as running away from home, stealing, violence, sexual activity and drug use.



Situations in which an adult wishes to become a foster parent.



## Receiving Consultations

- Consultation cases are accepted at each local child guidance office. (See the back of this booklet).
- Opening hours: Monday to Friday 9:00 a.m. ~ 5:00 p.m.  
It is advisable to make an appointment in advance to avoid long waits.
- Consultations are available in urgent cases (e.g. abuse cases) at Child Guidance Centers on Saturdays, Sundays, and public holidays (including New Year's Eve and New Year's Day), and during the evenings.
- All consultations are strictly confidential.
- Consultations are free of charge.

## つぎのような援助があります

### (1) 助言

受付けた相談に対して、助言を行います。

また、他機関の援助が必要な場合、医療、援助、訓練などを受けることができる専門機関をご紹介します。

### (2) 継続的な援助

必要に応じて、継続的に一定期間、専門職員による援助を行います。

援助の中には、遊びを通じた治療プログラムやカウンセリングなどを個別または、グループで行うことがあります。

### (3) 一時保護

緊急に保護を必要とする場合、保護による行動観察や生活指導が必要な場合、または短期入所指導を行う必要がある場合に一時保護を行います。

一時保護には一時保護所への入所と施設等への一時保護委託があります。

### (4) 里親

いろいろな事情により家庭で生活することができない子どもを家庭に迎え、家族の一員として一緒に生活し、養育しています。

養育里親	養子縁組を目的としないで、一定期間子どもを養育する制度。
専門里親	専門的ケアを必要とする子どもを専門性を備えた里親のもとで一定期間養育する制度。
親族里親	一定の要件を満たす子どもを三親等内の親族が養育する制度。
養子縁組里親	養子縁組(普通養子・特別養子)を目的として、子どもを養育する制度。

子どもを養育している里親さんが休養を取りたいときなどは、一時的に子どもを預けることができるレスパイト・ケア事業を利用できます。

子どもの養育に対しては、養育費等の一定の経費をお支払いいたします。

### (5) 施設への入所

いろいろな事情により、家庭で生活できない子どもを一定の期間、乳児院、児童養護施設、児童自立支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設などの児童福祉施設で預かります。

### (6) メンタルフレンドの派遣

お兄さん、お姉さんの世代にあたるボランティア(メンタルフレンド)を、家に閉じこもりがちな子どもの家庭や通所している児童相談所に派遣し、ふれあいの中でその子どもの社会性や自立性を高めていくお手伝いをします。

### (7) 療育手帳の交付

知的障害の子どもへの援助を図るため、養育手帳を交付しています。手帳の交付申請は、児童相談所で受け付けています。

なお、障害の程度に応じて各種の援助施策があります。

※特別児童扶養手当などの給付 ※税金の減額あるいは免除

※医療費の一部助成 ※鉄道、バス、航空運賃等の割引 ※その他

## The Following Services are Available

**(1) Advice**

We provide necessary advice for each consultation case. We also provide referrals to other specialist facilities in cases that require medical care, support, training, or other such specialized assistance.

**(2) Ongoing counseling**

In certain cases, our specialized staff members can provide ongoing counseling for a set period of time.

Counseling includes therapy programs conducted through fun activities and counseling services for both individuals and groups.

**(3) Temporary protective custody**

If the child needs urgent protection, behavioral observation or lifestyle guidance, the child can be taken into temporary custody.

Temporary custodial measures include admission to a short-term shelter or temporary admission to a commissioned institution.

**(4) Foster Parents**

The system allows a child who, for various reasons, cannot live with their biological family, and live in another household to be raised as a member of the family.

Foster home	A system for caring for children for a certain period of time without adoption
Specialized foster home	A system for caring for children with special needs by families who have special expertise, for a certain period of time.
Kindred foster home	A system in which a child who fulfils certain requirements is cared for by a relative (within the third degree of kinship)
Adoptive foster home	A system for caring for children with the intention of adoption (general adoption or special adoption)

A foster parent caring for a child can temporarily place the child in respite care service if they are in need of a short break.

A certain amount of the expenses of caring for a child are subsidized.

**(5) Admission to an institution**

Children who for certain circumstances cannot live with their families can be admitted to a child welfare institution, such as an infants' home, children's home, children's self-support facility, institution for mentally disabled children, or institution for physically disabled children for a certain period of time.

**(6) Dispatch of a "friend"**

Volunteers (called "friends") visit a withdrawn child either at their home or at the child guidance office that the child is attending to take on the role of a "big brother" or "big sister", with the aim of helping enhance the child's social skills and independence through personal and close association with them.

**(7) Certificate of mental disability**

The Mental Disability Certificate is issued to provide further support for mentally disabled children. Mental Disability Certificates can be applied for at the child guidance office.

There are several support policies available depending on the degree of disability.

- \* Provision of allowances such as the special child-rearing allowance
- \* Tax abatement or remission
- \* Subsidization in part of medical costs
- \* Discounted fares for trains, buses, air travel etc.
- \* Other



## 一時保護所

つぎのような場合、一時保護します。

### ○緊急保護

- ・ 迷子、置去りなど保護者が不明なとき
- ・ 保護者の死亡、病気、逮捕、家出、離婚などにより、子どもが家庭で生活することが困難な状況が生じたとき
- ・ 保護者による虐待、乱暴など養育家庭が子どもにとって不適切であるとき。

### ○行動観察

- ・ 非行、家庭内暴力、不登校などの子どもを一時的に保護して、十分な行動観察と行動診断を行い、問題解決の方法を検討する必要があるとき。

### ○短期入所指導

- ・ 短期間の心理療法、生活指導等が有効と判断され、他の方法による支援が困難なとき。

## 一時保護所の生活

- おおむね2歳から18歳未満の子どもが対象となります。
- 幼児(未就学児)と学齢児(小学生以上)に分かれ、日課により生活します。
- 年齢や成長に応じた生活習慣が身につくよう生活指導を行います。
- 学齢児には、学習指導職員などにより子どもの学力に応じた学習指導を行い、学習の習慣と意欲の向上に努めています。また、場合により在籍校への通学ができるよう努めています。
- 食事は、栄養のバランスはもちろん、子どもの嗜好に配慮して楽しい食事ができるよう努めています。
- 誕生会、外出行事、スポーツ大会、季節の催しを行っています。
- 必要に応じて、医学診断や心理診断を行います。

## Temporary shelters

Children are taken into temporary protective custody in the following cases.

### ○ **Emergency protective custody**

- A stray or abandoned child whose guardian's whereabouts is unknown
- A child who is experiencing difficulty in their home life due to the death, sickness, arrest, disappearance or divorce of a parent or guardian
- A child who living in an unsafe environment due to abuse or violence by a parent or guardian

### ○ **Behavioral observation**

- Children who require temporary custody, such as juvenile delinquents, violent children and school truants, undergo thorough behavioral observation and investigation with the aim of finding solutions to the problems.

### ○ **Short-stay guidance**

- Children whose issues are judged to require short-term psychotherapy or lifestyle guidance, but who cannot be assisted using other methods.

### **Life in a temporary shelter**

- Temporary shelters provide care for children aged between 2 and 18.
- Infants (preschool children) and school children (elementary school children and above) live separately, and in accordance with daily routines.
- Lifestyle guidance enables children to acquire the appropriate lifestyle habits for their age and developmental stage.
- To help achieve improved study habits and motivation, education counselors provide school children with educational guidance depending on each child's academic capabilities. In some cases, children are encouraged to attend their registered schools.
- Meals are prepared in consideration of the correction nutritional balance as well as child preferences to make meal times enjoyable for all.
- Birthday parties, excursions, athletic meetings and seasonal events are organized throughout the year.
- If necessary, medical and psychological examinations are conducted.